

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公開番号】特開2010-147509(P2010-147509A)

【公開日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2008-319084(P2008-319084)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/93 Z

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

H 0 4 N 5/76 A

H 0 4 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月19日(2011.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

映像の早送り再生が可能な映像処理装置であって、
 映像からユーザの嗜好対象を検出するユーザ嗜好検出部と、
 前記ユーザ嗜好検出部で検出したユーザの嗜好対象を記憶するユーザ嗜好記憶部と、
 前記ユーザの嗜好対象に基づき、再生中の映像からユーザの嗜好対象が映っているシーンを検出するシーン検出部と、
 再生映像、あるいは、前記シーン検出部の検出結果の、少なくとも一方を出力する出力部と、を備え、

前記シーン検出部は、早送り再生をした部分の映像に対して前記検出を行うこと、を特徴とする映像処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載した映像処理装置であって、
 前記ユーザ嗜好検出部は、
 再生映像から被写体を抽出する被写体抽出部と、
 前記被写体の抽出回数を記憶する抽出回数記憶部と、
 前記抽出回数が一定以上に達した被写体をユーザの嗜好対象として判定する判定部と、
 を有すること、
 を特徴とする映像処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載した映像処理装置であって、
 前記ユーザ嗜好検出部は、ユーザが早送り再生を行う直前のシーンで映像から消えた被写体を、ユーザの嗜好対象として検出すること、
 を特徴とする映像処理装置。

【請求項 4】

請求項 2 あるいは請求項 3 に記載した映像処理装置であって、
前記ユーザ嗜好記憶部、および、前記抽出回数記憶部の情報は、装置の各種操作や電源状態に依存せずに保持できること、
を特徴とする映像処理装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載した映像処理装置であって、
前記出力部は、前記シーン検出部の検出結果を一定時間だけ出力する機能を有すること、
を特徴とする映像処理装置。

【請求項 6】

請求項 1 に記載した映像処理装置であって、
前記シーン検出部の検出結果から、検出したシーンを読み出して再生する機能を有すること、
を特徴とする映像処理装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載した映像処理装置であって、
前記シーン検出部が検出したシーンを読み出して再生する場合、再生前の映像のタイムコードを記憶しておくこと、
を特徴とする映像処理装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載した映像処理装置であって、
前記シーン検出部が検出したシーンを読み出して再生する場合、再生終了後に自動的に前記タイムコードの位置の映像を表示すること、
を特徴とする映像処理装置。

【請求項 9】

請求項 1 に記載した映像処理装置であって、
前記ユーザ嗜好検出部は、ユーザの再生方法に応じた処理を行い、ユーザが注目した再生映像部分からユーザ嗜好を検出すること、
を特徴とする映像処理装置。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 3 いずれか一項に記載したユーザ嗜好検出部と、
前記ユーザ嗜好検出部で検出したユーザの嗜好対象を含む映像を検索する映像検索部と、
前記映像検索部による検索結果を通知するための情報を生成する通知情報生成部と、
を備えること、
を特徴とする映像配信システム。